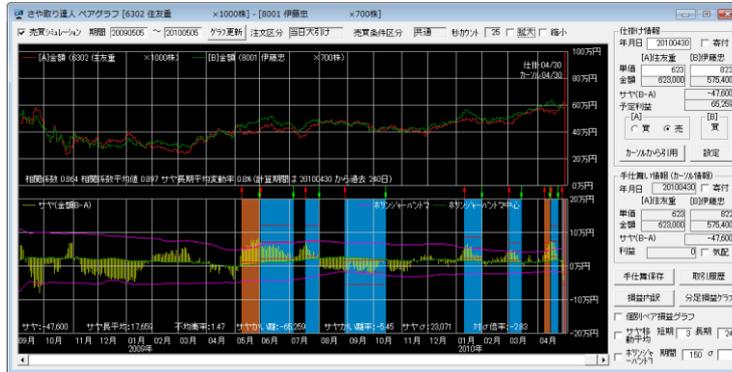


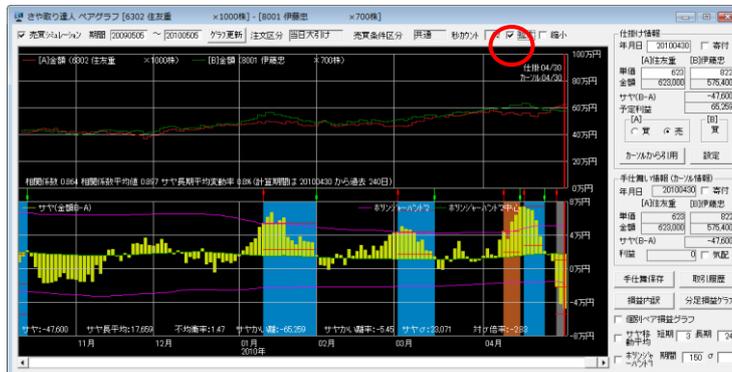
11.ペアグラフの操作

1. グラフ画面の拡大と縮小

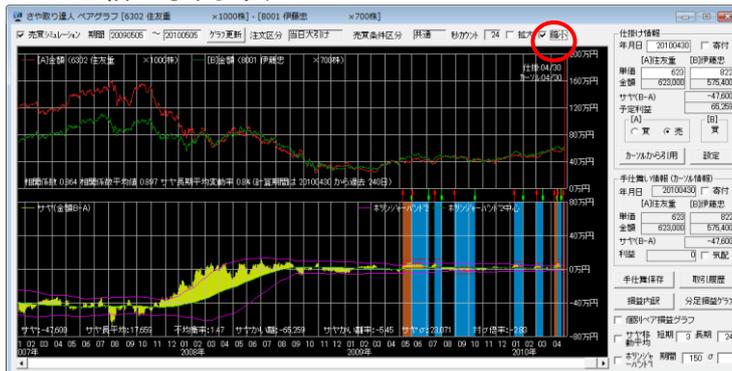
1. 「標準」サイズ



2. 「拡大」サイズ (標準サイズの3倍になります。表示期間は標準サイズの1/3倍になります)



3. 「縮小」サイズ (標準サイズの1/2倍になります。表示期間は標準サイズの2倍になります)



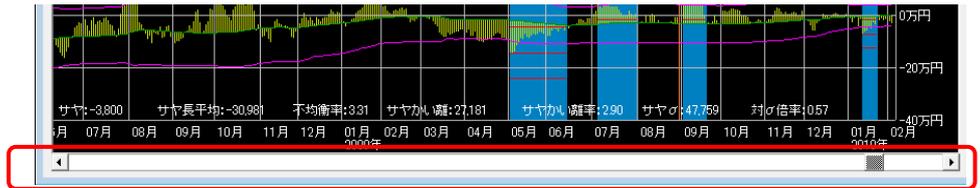
標準サイズに戻したい場合はチェックボックスのチェックを外してください。

2. グラフのスクロール

過去データの読み込み日数は992日(約4年)です。

現在表示されている期間より過去を表示したい場合はグラフのスクロールボタンを操作してください。

スクロールボタンの操作によって過去の任意な位置を表示することができます。



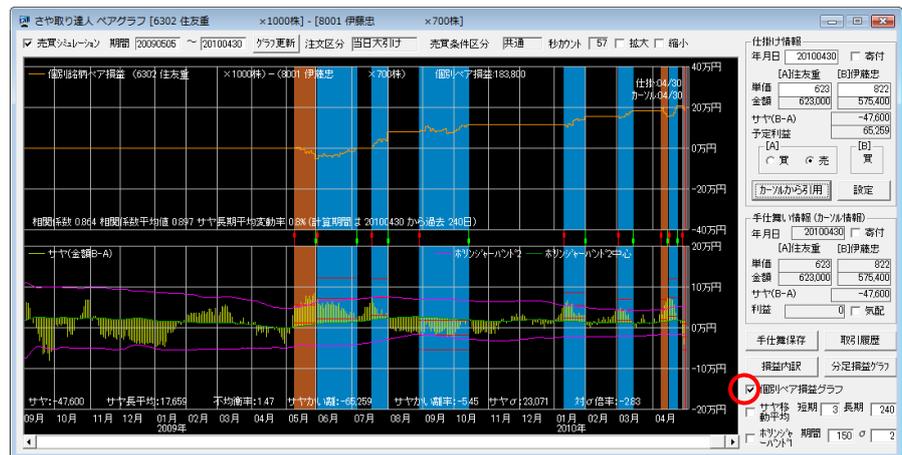
[ご注意]

売買シミュレーションの終了日はグラフのスクロールの影響を受けます。売買シミュレーションは現在表示されているグラフの最も右に表示されている日付で終了します。

グラフがスクロールしている場合は売買シミュレーションの終了日は今日(または直近の営業日)ではありませんのでご注意ください。

3. 個別ペア損益グラフ

個別ペア損益グラフをチェックすると銘柄ペア金額グラフが損益グラフに変わります。

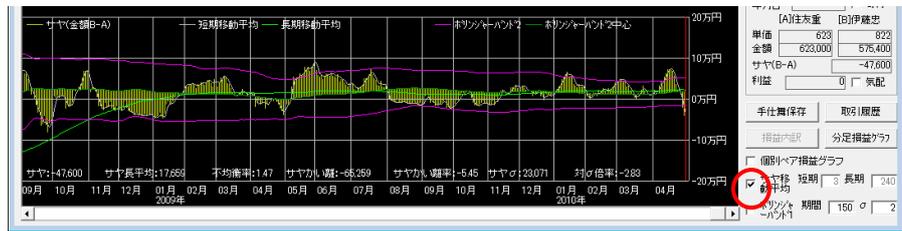


※別の銘柄ペアを選択すると損益グラフも選択した銘柄ペアの損益グラフに変わります。個別銘柄ペアの損益グラフの表示を止めて元に戻したい場合は「個別ペア損益」のチェックを外してください。

4. サヤ移動平均を表示する

サヤ移動平均は短期と長期の2本が表示可能です。

表示する場合はサヤ移動平均のチェックボックスにチェックを付けてください。



短期、長期のそれぞれの計算期間の変更も可能です。

計算期間を変更する場合はチェックボックスのチェックを一旦外して非表示にしてください。

計算期間を変更した後、再度チェックボックスをクリックすると変更後の計算期間で表示されます。

短期と長期の一方を表示したくない場合は表示しない方の計算期間に 0 か 1 を入力してください。

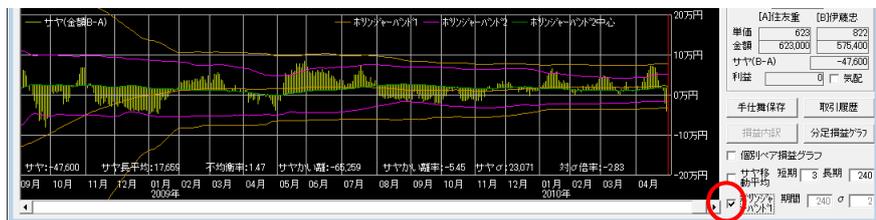
短期と長期の移動平均線のクロス点を上昇と下降の転換位置とみなすことができます。いわゆるゴールデンクロスとデッドクロスです。サヤ取りの場合はゴールデンクロスだけでなくデッドクロスも仕掛けのチャンスとなります。ただし移動平均線の性質上クロス点は実際の転換点より遅れて出現しますので注意が必要です。サヤがゆっくり大きく変動する場合は使えますが急激に小さく変動する場合はだましになります。ご注意ください。

5. ボリンジャーバンド 1 を表示する

サヤボリンジャーバンドは仕掛けや手仕舞いのタイミングを判断するのに利用します。

サヤボリンジャーバンド 1 は表示、非表示を任意に選択可能です。表示する場合は、チェックボックスにチェックを付けてください。

売買条件のボリンジャーバンド 2 とは別のボリンジャーバンドですので、取引マークの影響は受けません。



計算期間・ σ を変更する場合はチェックボックスのチェックを一旦外して非表示にしてください。

計算期間・ σ を変更した後、再度チェックボックスをクリックすると変更後の数値で表示されます。

例えば、期間 150 σ 2 に設定して利用してください。

6. 相関係数のグラフを表示する

相関係数と相関係数平均値をグラフで表示できます。

目的は相関係数の時系列的な変化を観察することで相関係数が高く安定している銘柄を見つけることです。

メニューの「グラフ表示」をクリックしてください。

「相関係数グラフ表示する」をクリックすると相関係数のグラフが表示されます。

「相関係数グラフ表示しない」をクリックすると相関係数のグラフが消えます。

J0418]									
両ペア作成(P) 売買条件(J) グラフ表示(G) ヘルプ(H)									
グラフ表示設定(S)									
A]単価	[A]株数	A]仕	[B]市						
0	1,000	東1							
0	1,000	東1							
0	100	東1							
0	2,000	東1	1815	鉄建	0	6,000	0		
0	2,000	東1	6817	スミダ	0	500	0		
0	100	東1	7762	シチズンHD	0	700	0		

相関係数と相関係数平均値(移動平均)のグラフが表示されます。

相関係数と相関係数平均値の時系列変化が一目でわかります。



相関係数平均値は下記の式で計算しています。

相関係数平均値 = 過去の(計算期間分の)相関係数の合計 / 相関係数
計算期間

相関係数計算期間は自由に設定できます。

相関係数計算期間の設定は「B 銘柄候補」画面で設定してください。

標準的には 240 日(約 1 年)に設定します。

相関係数のグラフを表示してみると相関係数が激しく変動するペアと比較的高い値で安定しているペアがあることが分かります。

目盛り線は 0、0.5、0.8、1.0 の 4 本が表示されます。

マイナス方向の目盛りは表示されませんが金額グラフの一番下の目盛り線が相関係数-1.0のラインになります。各グラフの表示色は下記の通りとなります。

- 相関係数の色……サヤの短期移動平均に設定した色と同じ
- 相関係数平均の色……サヤの長期移動平均に設定した色と同じ
- 相関係数目盛り線の色……損益グラフに設定した色と同じ

7. グラフ表示設定

グラフの各項目の色とグラフの種類を自由に設定できます。
メニューの「グラフ表示」の「グラフ表示設定」をクリックしてください。



1. グラフの色を設定する。

各項目の色は個別に設定できる他に標準設定として下記の4種類が用意されています。

・標準設定 ・プリセット1 ・プリセット2 ・プリセット3

これらの設定の色を確認するには確認したい設定のボタンをクリックして「適用」をクリックしてください。グラフが選択した配色セットで表示されます。



2. グラフの種類の設定

グラフは下記の3種類があります。

- ・A、B銘柄金額グラフ
- ・サヤチャート
- ・損益グラフ

それぞれのグラフについて階段グラフか折れ線グラフかを選択することができます。

サヤチャートは棒グラフも選択できます。

グラフの種類を変更した時実際のグラフがどのように表示されるか確認するには「適用」をクリックしてください。